

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <C票> 第三者評価結果 【法学部】

**教育研究目標 1**

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ スタートアップ演習の改善について具体的かつ詳細な記述がされているため。（評価者A） ・ 数値を示しており、きわめて具体的であると言えます。（評価者B） ・ 1. 6年後の目指す姿、及び、2. の背景、課題及び現状分析が、具体的に記述されているため。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点： ・ 非常に適切な目標の設定であると考えます。（評価者B）	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<b>目標の内容</b> （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 全体的に適切なものになっていると思われます。（評価者A） ・ 非常に適切な目標の設定であると考えます。（評価者B） ・ 妥当で適切です。（評価者C）
<b>評価指標</b> （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 妥当なものであると思われます。（評価者A） ・ 評価指標として、アンケート調査の結果をあげていますが、間接的な評価の指標であるように思います。直接、科学的な思考方法を身につけたかを検証する方法についても今後検討することが期待されます。（評価者B） ・ 極めて詳細で評価し易い。（評価者C）
<b>目標達成スケジュール</b> （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 適切であると思われます。（評価者A） ・ 妥当と思われます。（評価者C）

## 教育研究目標 2

### 1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・副専攻プログラム受講者増に関する具体的記述となっているため。（評価者A） ・数値目標を掲げており、きわめて具体的です。（評価者B） ・法学・政治学以外の学問分野の知識が必要なことを述べている。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<b>目標の内容</b> （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取り組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・全体的に適切なものになっていると思われます。（評価者A） ・適切です。（評価者C）
<b>評価指標</b> （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・妥当なものであると思われます。（評価者A） ・指標は明確ですが、目標とする値が学生数に比べて小さいように思います。副専攻プログラムの性質からこの目標値は理解できますので、幅広く学生に係わる指標も別途、検討されることが期待されます。（評価者B） ・適切と思われます。（評価者C）
<b>目標達成スケジュール</b> （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・適切であると思われます。（評価者A） ・適切と思われます。（評価者C）

## 教育研究目標 3

### 1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 2名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ インターンシップ実習・キャリアゼミ・霞が関セミナー・社会連携プロジェクト、平和学特別演習「ヒロシマ」など具体的な実践型体験学習プログラムについて記されているため。（評価者A） ・ 「正しい価値観と豊かな人間性」と実践型体験学習プログラムとを関連付けている点。（評価者C）
「具体的でない」 1名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 「価値観の形成」に対して、参加者の増加ということは直接的には結び付かないように感じます。参加者の増加も重要な要素ですが、参加者の価値観がどのように変化したのか、するのか、についても多少なりともめざす姿を示すことが期待されます。（評価者B）
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<b>目標の内容</b> （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 全体的に適切なものになっていると思われます。（評価者A） ・ 評価基準に照らし合わせ妥当です。（評価者C）
<b>評価指標</b> （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 妥当なものであると思われます。（評価者A） ・ 目標と狙いは、適切であると思います。しかし、在籍学生数に比較して、指標にあげられた目標値が少ないと思います。幅広い学生に関わる具体的な評価指標も検討されることが期待されます。（評価者B） ・ 妥当です。（評価者C）
<b>目標達成スケジュール</b> （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 適切であると思われます。（評価者A） ・ 適切です。（評価者C）

## 教育研究目標 4

### 1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 人権問題講演会、フィールドトリップを含む人権教育講義について触れられているため。（評価者A） ・ 数値を掲げているので具体的です。（評価者B） ・ 新入生に対し学部や大学が主催する人権問題講演会に積極的に参加させている。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<b>目標の内容</b> （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 全体的に適切なものになっていると思われます。（評価者A） ・ 履修者数を維持することが大切であることは理解できますが、学生の身につけた度合いなどについても、目標を定めることが期待されます。（評価者B） ・ 非常に大切な目標と思われます。（評価者C）
<b>評価指標</b> （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 妥当なものであると思われます。（評価者A） ・ 妥当です。（評価者C）
<b>目標達成スケジュール</b> （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 適切であると思われます。（評価者A） ・ 適切です。（評価者C）

# 教育研究目標 5

## 1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 海外フィールドワーク・国連セミナー・世界市民論等に具体的に言及されているため。（評価者A） ・ 受講者数は研究教育目標の達成にとって重要な要素であり、数値を掲げているので当面の目標としては具体的です。（評価者B） ・ 1. と2. の記述は具体的です。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<b>目標の内容</b> （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 全体的に適切な内容であると思われますが、全学プログラムの活用が述べられている一方で、学部独自の試みについて展開することも期待されます。（評価者A） ・ 受講者数も重要な要素ですが、そこでどのような知識を身につけるのか、どのような考え方を身につけるのか、などについても更なる検討が期待されます。（評価者B） ・ 評価基準に照らし合わせ妥当と判断しました。（評価者C）
<b>評価指標</b> （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u>&lt;評価者からのコメント&gt;</u> ・ 妥当なものであると思われます。（評価者A） ・ 妥当です。（評価者C）
<b>目標達成スケジュール</b> （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	・ 適切であると思われます。（評価者A） ・ 適切です。ただ、20年度と最終年度の目標値の差が100人であり、それ以前は年度毎の増加目標値が50人となっています。（評価者C）